

偽装請負問題学習会が大盛況(2・7)!

安全のために直営にすべきことを、コストダウン狙いで請負にする経営方法が問題なのです!



2月7日の偽装請負問題学習会には30名が結集。床に座って話を聞く人も出る大盛況でした。

参加者は、籠原の出自者はじめ、籠原の運輸区、新前橋車掌や、高崎、両毛線などの駅、さらには遠く大宮工場と、現在外注化攻撃にさらされている職場から多数参加され、偽装請負問題への関心の高さが伺えました。

講師の高木太郎弁護士の話は、偽装請負とはどういうことか、基本的な事から始めて、職場の具体的事例に触れながらの説明でとても分かりやすいものでした。

現場から実に真剣な質問が相次ぎました。以下質疑からいくつか。

■命を守るために違法行為をせざるをえない構造が問題

(質問) 高崎では8駅の業務委託、1駅の無人化がすすめられようとしている。若年出向もありだと。会社は、契約書を結ぶから問題ないと言うのだが?

(講師) 労働法の規制が及ばない形にしてコストダウンすることが狙い。契約があっても直接指揮命令をすれば偽装請負になる。突発的な場合には偽装請負にならないやり方は無理。

(質問) 会社は、「偽装請負になるのでTTSに指示できないが、命にかかわる業務はこの限りではない」と言うのですが?

(講師) 人命優先は当然だが、偽装請負であるということは変わらない。命を守るために違法行為をしなければならぬ構造が問題なんです。

■労基署にもっていけばアウトです!

(質問) 会社は「入庫する番線が変わった場合には、事後報告すれば指揮命令してもOK」という文書を出している。

(講師) まさに論外。労基署に持っていけばアウトです。問題は、そこまでして、ダイヤ混乱等の場合に、偽装請負をやらざるをえないという構造です。人命を預かるJRが、そういう施策をすすめるのは問題です。そぐわない。

■違法行為は拒否したことを理由の処分は無効です

(質問) 偽装請負にあたる指令を拒否したら処分されるか?

(講師) 法律違反だからできないと断ったことを理由にした不利益扱いをしてはいけない。裁判になれば勝てます。

(質問) 会社は、「いとまがない時はやってもよい」とか、「1回、2回はよい」と言っているが?

(講師) 日頃からそういう説明をして偽装請負をやるのはダメです。

* * *

終了後、近くの居酒屋で交流会。ここでも職場からの活発な質問が相次ぎました。2回目もやりたいところです。講演記録集を作成中です。



2月21日
No109

国鉄高崎動力車連帯労働組合

(連絡先: srke.jp@yahoo.co.jp 048-722-7107faxt 共)

相次ぐ JR の重大事故—上越線で車両火災（2月4日渋川）

外注化阻止！闘いなくして安全なし！

JR北海道：列車トラブル頻発 小池社長、会見で陳謝

安全徹底の考え / 北海道 （毎日新聞 2月15日）

JR函館線の旭川市内のトンネルを走行中の特急車両内から煙が出て緊急停車するなど列車のトラブルが相次いでいる問題で、JR北海道の小池明夫社長は14日の定例記者会見で、一昨年の石勝線の脱線炎上事故を受けて策定した安全基本計画について「浸透できていない」と陳謝し、改めて安全対策を徹底する考えを示した。

12日に白煙が発生した稚内発札幌行きの特急スーパー宗谷2号は、同社のこれまでの調査で、ブレーキの作動やドアの開閉のために空気を圧縮するコンプレッサーのベルトがローラーとかみ合わずに空転したことで発熱、発煙した可能性があるという。ゴムの劣化で座席下にできていた隙間（すきま）から煙や異臭が客室に流れ込んだとみられる。

今年に入り、道内では走行中の特急のドアが開いたり、レールが破断したりするトラブルが頻発。小池社長は「収支状況もあり、設備投資や修繕などはやや遅れ、これから本格化するところだった。安全基本計画を浸透させ、発生主義から予防主義へシフトしなければ」と強調した。

ただし、特急スーパー宗谷2号の事故では、車掌が乗客を誘導し、大きな混乱がなかったことから、小池社長は「(石勝線事故後に改定された)誘導マニュアルに沿って適正に対処できた」と述べた。

JRの事故、列車トラブルが相次いでいる。このままでは大事故が！

- JR大湊線で列車が脱線 むつ市/けが人なし（2月8日）
- JR特急のドア走行中また開く 宗谷線乗務員用、2日連続（2月11日）
- JR外房線でレールに亀裂見つかる（2月11日）
- 入試の朝レール破断、時速15キロの徐行運転 JR西（2月11日）
- 特急から煙、乗客が発見し停車 北海道、けが人なし（2月12日）
- 山陽新幹線・トンネル壁面の一部落下（2月15日）



鉄道トラブル:下り線走行中の機関車から出火

— 渋川・JR上越線 / 群馬

4日午後8時10分ごろ、渋川市上白井付近のJR上越線津久田-岩本駅間下り線で、走行中の機関車から出火する火災があった。JR東日本高崎支社によると、当時、電気機関車「EF81」がディーゼル機関車「DE10」をけん引し走行。津久田駅から北約700メートル付近で、「DE10」の燃料タンク付近から出火したことに男性運転士が気づき、車両を止め連絡したという。運転士にけがはなかった。この火災でJR上越線高崎-水上駅間が一時運転を見合わせた。【毎日新聞 02月05日地方版】